



# 京都部部報



BULLETIN

第1号 / 2008.7 発行

京都部部長主題  
西日本区理事主題  
国際会長主題  
アジア会長主題

『意識をもって活動に参画しよう!』 - 555実現に向けて -  
“思いやりを持ってワイズライフを!” - わかち合いは微笑みをもって -  
“Be the Light of Hope” 「希望の灯(ともしび)となろう」  
“Be the Light of Hope” 「希望の灯(ともしび)となろう」



## 『意識をもって活動に参画しよう

- 555実現に向けて - 』

第13代 京都部部長 藤田 寿男  
京都ウイングワイズメンズクラブ

いよいよ2009年に向けての期が始動しました。各クラブにおかれましては新しい役員の方々を中心に周到な準備を重ねてこられ、いつでもスタートできる体制で引継ぎのときを、首を長くして待たれていたことと思います。すでに十分燃焼されているので、よく聞く言葉ですが、もう半分は終わったようなもの、との気持ちもよく解ります。しかしながら次につなぐ来年6月までは、やっぱり気を抜けないところでしょう。今期掲げられたそれぞれの会長主題や方針に沿った素晴らしいクラブ運営を継続して実行されることを期待しています。

今期の京都部も各主査や事務局の皆さんが先輩諸氏のご指導のもと、すでに1月から意識を持って活動に参画され、また全てのワイズメンが様々な事業や運動に「意識をもって参画」できるような具体的な施策を考えてこられました。それらの方針の浸透を図るため、各クラブの会長・委員長の方々に集まっていたいただいて期が始まるまでにいくつかの事業単位で懇談会も持ちました。京都部は17ものクラブと500名に近いワイズメンをかかえる大きな組織だけに、クラブ同士の連携の機会をつくったり情報の流れをスムーズにするためには早い時期に共通理解を得る場をもつ必要があります。そんな場に多くの代表者がお集まりいただいたことに今期に対する熱い思いを感じ取ることができました。

クラブ間の交流を促進するために部が主催する事業もいくつかありますが、基本的に事業主体はクラブにあります。それぞれのクラブが行う事業にワイズメン一人一人がその意味を理解して参加できるように、部としてできることを実践していきたいと思っています。国際協会や西日本区の目的とするところを、ホームページを充実させ正確にタイムリーに伝えること、京都YMCAの使命や理念を十分に理解した上でその活動に参画し、その運動を地域奉仕を通して拡げていくこと、その結果として555名という大きな目標を達成して西日本区2000達成に大きく貢献すること、そして環境問題への取り組みや青少年育成に力を発揮すること、これらのことを各クラブに働きかけ、そして必要とあらばクラブとクラブをつなげてより大きな力にすることを、各主査や事務局とともに努力を続けていきたいと思っています。7月後半から各クラブを順に訪問させていただきます。そのときに想いを詳しくお伝えするつもりですのでよろしくお願いいたします。



次期京都部部长 山中 将平  
(京都洛中クラブ)

2008年～2009年度京都部がスタートし、「次」の一字が少なくなった「次期部長」の役割に重みを感じております。北西部、京滋部、京都部と変遷を重ね、京都部も十数年の歴史となり、京都のワイズメン

ズクラブ、YMCAを取り巻く環境も大きく変化しています。これから一年、藤田部長、京都部役員の皆様の活動と各クラブのご意見を参考に、京都部の継続すべき事業、方針を継承しつつ、京都の各クラブ、そしてメンバー一人一人が豊かな奉仕の心で、充実した活動を実践して頂くため、京都部の果たすべき役割について模索していきたいと考えております。京都部のサポートで、よりよい地域社会づくり、YMCAの発展につながればと願っております。



直前部長 新山 兼司  
(京都トップスクラブ)

前期は京都部の皆様に1年間最後まで支えて頂き、京都部部长としての大役を無事務められましたことに感謝と御礼を申し上げます。

今期は直前部長として、藤田部長のもと、京都部の発展の為に精一杯力を注いでいきたいと思っております。

ここ数年メンバー増強がワイズメンズクラブにおいて重要な課題となっています。2007年7月1日の京都部の会員数443名が、2008年3月末現在470名となりました。部において会員増強・会員維持の機運も高まり、藤田部長の「意識をもって活動に参画しよう！555実現に向けて」の主題を花いっぱい咲かせて頂けるものと確信致します。各クラブにおいて、YMCAや各地域の中でそれぞれ特徴のあるプログラムを活発に展開され、ワイズメンズクラブとYMCAが地域社会に向けて力強い活動や事業をされていることに誇りを持って、皆様と共に1年間邁進して行きたいと思っております。宜しくお願致します。



監事 大槻 信二  
(京都センチュリークラブ)

「意識をもって活動に参画しよう！」-555実現に向けて-

この主題を掲げて、京都部第13期藤田丸が启航しました。

私達がワイズメンであるという事理由は、メンバー一人一人異なるかも知れませんが、しかし、この主題に

掲げられた通り、意識をもって活動に臨む場合と、ルーティンワークのごとく参加するのでは、自ずからその喜びや、楽しみ、社会的意義の度合いが変わってくる様に思います。勿論、その為には、クラブや部がメンバーに提供するプログラムは、ポリシーを持ったものでなければならぬとは言ってもありません。

今期、私個人にとりましては次期部長職から続く一連の役職最後の年度にあたります。

京都部監事としてその運営に参画する上で、監事という職に求められるものは何であるのかを常に意識しながら事に当たって行きたいと思っております。そしてその事が、藤田丸の素晴らしい航海の一助となる様、努力してまいります。どうぞ今期1年間宜しくおねがい申し上げます。



書記 谷口 豊  
(京都ウイングクラブ)

今期京都部の書記をさせて頂くことになりました谷口です。私のスポンサーであります藤田部長の手となり足となり雑用を一手に引き受けて藤田部長を盛り上げていきたいと思っております。

藤田部長と部役員の皆様や各クラブの会長の皆様とのパイプ役として一年間スムーズで円滑に伝達できるように努めてまいります。

また私個人としては、クラブ枠を超えた人的交流を楽しみ、また広げていけることを楽しみに一年間頑張りたいと思っております。

一年間、どうぞよろしくお願致します。



事務局長 中西 康晴  
(京都ウイングクラブ)

ウイングクラブからの藤田京都部部长とあって事務局にと、どの様な役目なのか分かりませんが、京都部の中で働かせてもらいます。

部長主題である「意識をもって活動に参加しよう！-555実現に向けて-

」を事務局より積極的にアピールし本当に実現したいです。

また、部長の活動方針である京都YMCAと各クラブとの理解と連携そしてワイズ活動、運営に部長を補佐していきたいと思っております。ワイズの皆さん1年間宜しくお願致します。



会計 島本 浩晃  
(京都ウイングクラブ)

このたび京都部の会計を拝命いたしました京都ウイングクラブの島本です。1年間、京都部の貴重な資金を預かることとなりますので、慎重に役割を果たしていきたいと思っております。各クラブの皆様には、部費の納入等いろいろと依頼申し上げることになると存じますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

自クラブ以外の役職を経験するのは今回が初めてですので、皆様のご指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

自クラブ以外の役職を経験するのは今回が初めてですので、皆様のご指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



統括連絡主事 西岡 義郎  
(京都YMCA)

青少年が「人として育つ」のが困難な時代となった今日、「人が育つ」訓練の場としてのYMCAを確立する必要があります。ボランティアを受け、組織化し、訓練する場が極めて少ないのが現実です。

京都YMCAは「青少年の育成」「ボランティア社会の構築」を目指し

市民による民間の公益活動として運動を展開してきました。京都YMCAによせられる各クラブとして、また個人としての奉仕活動は素晴らしい実績があります。また、他団体からは高い評価を得ているものでもあります。学生ボランティア

にとっては奉仕活動に情熱を注ぐ良き大人として評価を受けています。

今期も情熱を持って、智恵を出し合い新たな市民社会の形成を目指し、「人が育つ」ところとしてのYMCA運動、ワイズ運動を共に推進していきたく願っています。

### 各事業主査抱負

Yサ・ユース主査 上原 康  
(京都グローバルクラブ)



6月29日(日)京都リトリートセンター夏季準備ワークから始まり、今期も例年通り多くのYサ・ユース事業が行なわれます。

1つ1つの活動には様々な主旨の元、大きな目的がありそれを達成するには皆様のご理解とご協力がなければ

成し遂げられません。

残念ながら、Yサ活動は日曜日に行なわれるのが多く、参加できないメンバーの方が多いのが現状です。ワイズメンになられた限り、どうか積極的なご参加をお願い致します。メンバー同士の親睦を深めるチャンスがそこにあります。そしてYMCAをより身近なものとし、奉仕活動への素晴らしさ、楽しさを感じていただけたらと思っております。又、今期YMCAのリーダー達の活動を通し青年育成にも力を入れて参りますので、どうか皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

### 地域奉仕・環境主査

山田 隆之  
(京都キャピタルクラブ)



「DO YOU KYOTO?」という言葉ご存知ですか?海外から逆輸入された言葉で「環境にいいことしていますか?」という意味で使われ始めています。京都に住む私達が環境問題に取り組むことが急務であることを再確

認させられる言葉です。また、京都は京都議定書誕生の地としても、環境問題にいち早く取り組む必要があり、京都に暮らすワイズメンといたしましても率先して行う事業であると考えています。環境に対しての事業は簡単なようで継続して取り組みにくい事業でもありますので、各クラブの環境事業への取り組みのお手伝いができるように頑張っていきたいと思っています。

先日、第1回京都部地域奉仕・環境事業懇談会を開催いたしました。各クラブの素晴らしい事業内容をお聞きし、他の委員会と共に各クラブの事業を積極的に広報し、ワイズメンズクラブの存在を外部にもアピールしていきたいと思っています。

一年間宜しくお願いいたします。

EMC主査 高田 敏尚  
(京都クラブ)



西日本区のEMC事業主任の主題が「思いやりの心で充実した例会 楽しいところに人は集まる」です。ワイズを楽しみあつまりにしていきたいと思います。楽しいだけでなく楽しい面も。いつときで終わるたのしさと同

時に、内面から湧き起こるたのしさを追求していきましょう。そうすれば、自ずと「京都部555」の目標も達成できるでしょう。4月末で京都部は471名のメンバーが結集しています。1月末が456名でした。あと少しです。知恵と汗と熱い思いで、ぜひ実現させましょう。うまく活動が継承されているクラブにまなびながら、京都部全体が力をつけていけるようにと思っています。例会出席は第一の義務です。みなさん、出席率100%をめざしてください。各クラブの会長さま、EMC委員長さまにはお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ファンズ主査 川嶋 宗男  
(京都ウェルクラブ)



今期初めて京都部の役員をさせていただきますウェルクラブの川嶋です。至らない点があるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。今期の主題は、「楽しもう、ファンズ!」です。

ファンズ事業の中では、皆さんすでにご存知の「BF使用済み切手」で、切手を整理しながら何かほかの事も組み合わせで交流ができる会合など企画できればよいと考えています。また、BF,EF,JWF 献金においても各クラブで目標を設定して、ファンズ事業への理解を深めていただきたいと思います。

BF代表については、京都部のプリンスクラブからBF代表で南アメリカに行かれていますので、その時の楽しいエピソードなどを聞ける機会を是非もちたいものです。

このように、馴染み深く、長年取り組んできた事業にプラスを加えて、ファンズ事業を楽しみながら盛り上げていけるようにしていきたいと思っていますので、各クラブのご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。

交流主査 森田 美都子  
(京都パレスクラブ)



ワイズメンであるからにはIBC、DBCの楽しみ方を知らないワイズライフなんて・・

「人が好き ワイズの人が好き ワイズの人々との交流が何よりも好き」軽いタッチで甚く交流事業に

魅了され遠巻きながら楽しませていただいていたワイズ歴8年。さて、ここに来て交流事業主査という初役目を拝受する運びとなり少々の戸惑いと、ワイズをもっと深く勉強させていただけると云う期待とが心中一気に交錯中。

大きな働きかけというよりまずは各クラブの皆様方に「自クラブの既存の締結先との交流活動を今一度再確認しようではありませんか」と謳いかけたいと思います。

ていねいな見直しの中から新たなIBC、DBC活動計画の方向性が生まれてくる事を節に願い、微力ながら精一杯努力していく所存であります。

一年間、どうかお導きの程宜しくお願いいたします。

広報主査 村澤 功三  
(京都トゥーピークラブ)



微力ですが頑張っていますので、1年間よろしくお願いいたします。

今やコミュニケーション手段の主流となっているインターネット、その

京都部ホームページをより手軽に・身近に・日常的に・楽しく利用していただけるものにするための工夫を行います。各クラブの会長と広報委員長には、EMC事業や地域奉仕・環境事業等クラブ情報のアピールや案内を京都部ホームページへ積極的にアップしていただくようお願いして参ります。中堀広報事業主任の事業方針にあります、ITの活用とアナログ的手法のバランスを考える...というところでは、京都YMCA三条本館に設置されている「ワイズメンズクラブ広報板」の有効活用を引き続き推進します。また広報の原点は、ワイズメンひとりひとりが広報板であり広報マンであることだと考えます。ワイズメンなら、いつでもどこでも誰にでも、その存在と活動を世間に広くひろめるため、ひとりからでもできる広報活動をお願いして参ります。

**メネット主査 松村 智子**  
(京都めいぶるクラブ)



メネットであることを再認識して、ワイズ活動を支援していきたいと思えます。メネット会のあるクラブは半分もありませんが、活動を通してメネット同士の交流を深め、輪を広げ、メネットの視点で出来る事をもう一度考えましょう。一人の力は小さくても、大勢集まれば大きなパワーになるはず。ど

んどん例会・行事に参加してください。

多くのメネットとの出会いを大切に、一緒にワイズライフを楽しみたいと思えます。ご協力よろしくお願ひいたします。



**部評議会並びに役員会開催予定**

日付	評議会	役員会
08.06.22	第1回評議会	
08.07.04		第1回部役員会
08.08.08		第2回部役員会
08.09.05		第3回部役員会
08.09.14	第2回評議会	
08.10.10		第4回部役員会
08.11.07		第5回部役員会
08.12.05		第6回部役員会
09.01.09		第7回部役員会
09.02.06		第8回部役員会
09.02.15	第3回評議会	
09.03.06		第9回部役員会
09.04.10		第10回部役員会
09.05.08		第11回部役員会
09.06.05		第12回部役員会
09.06.21	第4回評議会	

**部役員会並びに評議会出席義務者**

**部役員会** 部長・次期部長・直前部長・監事・主査  
書記・会計・統括連絡主事

**部評議会** 上記 部役員会出席義務者+会長

**部長公式訪問予定**

日付	クラブ	随行役員並びにクラブ所属主査		
07.15	キャピタル	高田主査	上原主査	山田主査
07.23	トゥービー	森田主査	川嶋主査	村澤主査
08.06	トップス	上原主査	川嶋主査	
08.20	グローバル	森田主査	川嶋主査	上原主査
08.25	めいぶる	森田主査	川嶋主査	松村主査
08.27	パレス	高田主査	上原主査	森田主査
08.28	洛中	山田主査	村澤主査	
09.09	京都	山田主査	森田主査	高田主査
10.02	ウエスト ウイング合同	高田主査	松村主査	
10.09	東稜	高田主査	上原主査	
10.14	福知山	山田主査	村澤主査	
10.15	みやび	高田主査	川嶋主査	
10.28	エイブル	高田主査	村澤主査	
11.04	ウエル	上原主査	村澤主査	川嶋主査
01.15	センチュリー	山田主査	松村主査	
02.04	プリンス	山田主査	森田主査	

各クラブにおきまして上記、公式訪問日程以外で、事業に関する例会や行事を実施されます時は、是非とも、部書記事業担当主査までご連絡を、御願ひ致します。

**強調月間リスト**

年月	内容
2008年07月	Kick-off EMC-C
2008年08月	Youth Activities
2008年09月	Menette
2008年10月	BF
2008年11月	Public Relations Wellness
2008年12月	EMC-M
2009年01月	IBC・DBC
2009年02月	TOF・CS・FF
2009年03月	EF・JWF
2009年04月	YMCA サービス ASF
2009年05月	LT
2009年06月	評価・計画
通年	PR

**京都部各クラブ会長（敬称略）**

クラブ名	会長のお名前
京都ワイズメンズクラブ	金澤 市郎
福知山ワイズメンズクラブ	小林 稔
京都パレスワイズメンズクラブ	田中 一馬
京都ウエストワイズメンズクラブ	山下 太郎
京都めいぶるワイズメンズクラブ	松尾 隆正
京都キャピタルワイズメンズクラブ	香山 章治
京都プリンスワイズメンズクラブ	廣井 武司
京都センチュリーワイズメンズクラブ	赤松 悦治
京都ウイングワイズメンズクラブ	今村 隆宏
京都洛中ワイズメンズクラブ	荒木 恒夫
京都エイブルワイズメンズクラブ	村田 信也
京都グローバルワイズメンズクラブ	紺谷 昌丘
京都市みやびワイズメンズクラブ	北村 栄司郎
京都トップスワイズメンズクラブ	平間 正昭
京都トゥービーワイズメンズクラブ	伊藤 剛
京都東稜ワイズメンズクラブ	高間 正夫
京都ウエルワイズメンズクラブ	永井 剛

## 各クラブ会長抱負

### 京都ワイズメンズクラブ会長 金澤 市郎 会長主題 「温故知新」「和衷協同」



今年度、会長を引き受けるに際して、何が求められているか。また、何をやるべきかを考えたときに、自分自身がまず京都クラブの歴史やワイズメンズクラブのことをもっと知らねば、と思った次第です。そこで改めて京都クラブの50年史や他クラブのプリテンを読ませていただきました。

そして、京都クラブの基本的な考えは何かと問うた時の返事は「常にYサ・CSを重要視し、ワイズの基本を忠実に実行する姿勢」だと。私がおのころに感じたことは、基本が揺らいではならないことはどの世界でも同じである、ということでした。

そこで今期の主題を私自身の行動を念頭に「温故知新」「和衷協同」といたしました。「先輩たちが経験して来たことを学び、心を同じくして共に力を合わせ行動しよう」といった意味です。京都クラブの基本理念を忘れず、皆さんと共に楽しく奉仕活動を行なえたらいい、との思いです。楽しむためには事業に参画することが大事ではないかと思えます。そこでYサ・CS事業、及びEMC事業をはじめ各事業の新しい取り組みや内容の充実をはかり、メンバー各位がプログラムに参画、もしくは参加するよう働きかけて行きたいと思っています。

昨年度、NPO法人チャームがリトリートセンターで初めて行ったHIV陽性の女性とその家族を対象に行なった「多文化キャンプ」の支援について、今年度も京都YMCAの活動を支援する形で、より中身を充実させるべく事前の打合せを充分に行いサポートする予定です。キャンプの目的は色々な人が出会い、自然の中で交流を楽しみ、それぞれの経験からの情報交換、そして立場の違う人と協同することです。そのため京都クラブとしてできることに取り組みます。

また、今年度はIBCについても交流するだけでいいのか、協同事業など京都クラブとしての展開をどうするのか、等について検討する時期に来ているのではないかと思うので、会長諮問チームを立ち上げ新しい事業に取り組んで参りたいと考えています。

### 福知山ワイズメンズクラブ会長 小林 稔 会長主題 活力をワイズライフに



福知山クラブはメンバーは少人数で高齢化が進んでおりますが、ワイズ、福知山YMCA事業には希望と熱意をもって取り組んでおります。

YMCA活動においては青少年健全育成、地域社会奉仕活動等は、メンバーが心をつなげて行動し、特に地球環境対策事業の一環として地域の自然環境は地元の住民のみんなが協力し美しい自然を保とうと、23年前YMCA会館前を流れる弘法川の川沿いは雑草が茂り空き缶やゴミが捨てられ汚染されつつあるので、暮らしの中で大切な水資源を

守ろうと地域の自治会、子ども会〔ゴミゼロクリーン作戦〕を提案し河川の一斉清掃開始の運びとなり、題して「クリーン弘法川&魚つかみ大会」7月の真夏の厳しい暑さの中で大人も、子ども達も一緒になって清掃作業に汗を流す共同作業は美しくなると共に、近隣との人と人と、心と心の、温かい広がり輪（和）の持てる良き機会として喜ばれています。永年の活動努力で成果も高く評価を得て、府の河川整備工事も順次進み水清き流れに魚影も見られるまでになりました。

ワイズ、YMCA、地域、の活動が努力と協力で水資源の大切さを、身を持って体験し学んで〔ゴミゼロ運動〕が大きな輪となり広がって自然環境保全が永遠に継承されることを祈っています。

クラブが地域社会奉仕活動を展開していくのは少数メンバーでは体力的にも資力的にも限りがあり、クラブの活性化と活力を得るには会員増強が重要課題です。例会には、時間厳守、出席率100%、が継続中ですメンバーが、例会日が待ち遠しく、楽しいからだと思えます、楽しいところには自然に人は集まってこられると思えます。更に親睦を深め、良きゲストを、お招きし魅力あるクラブにし会員増強に努めたいと考えています。

### 京都パレスワイズメンズクラブ会長 田中 一馬 会長主題 「楽しく、正しく、仲良く」 - 40周年へ向けてホップの年 -



パレスクラブは2011年に40周年を迎えます。本年度はその記念すべき年に向けてのホップの年と位置付け活動していきたいと考えます。

まず、その行動の指針として標語の中にもあるように「楽しく、正しく、仲良く」という3つのキーワードをかかげました。近年のパレスクラブは若いメンバーも増え、活気のある雰囲気を感じています。この雰囲気を持続しつつ、しかも40周年に向けて益々クラブが発展するためには、例会運営・YMCAへの奉仕活動やクラブ事業はもちろんのこと、役員会や委員会も含めたクラブ運営、さらにはそれらにまつわるひとりひとりの行動を、以下のように3つのキーワードに配慮しながら進めていきたいと考えております。

・「楽しく」  
やはりクラブ活動は楽しくやらねば意味がありません。楽しいことや楽しいところにはたくさんの方が集まります。例会運営や奉仕活動はもちろんのこと、個人の行動も含めて、自分にとってもメンバーにとって楽しいものになるように考えていきます。

・「正しく」  
そもそも正しさにはさまざまな基準があります。今まで当たり前のように正しいと思っていたことが実は間違いであったりとか、自分にとって正しくても他人にとっては正しくないというようなことはしばしば起こります。切り口が変われば正しさは変わります。メンバーにとっても、クラブにとっても、どうすれば正しく運営できるかを真摯に考え行動していきたいと考えます。

・「仲良く」  
他人と仲良くするにはエネルギーが必要です。常に相手のことを思いやり、自分の為にも相手の為にもなるよう行動する必要があります。しかし、このことが常にできれば、クラブライフにおいても、実生活においてもとてつもない人間関係を築くことができます。メンバーひとりひとりが豊富な人

間関係を築いていけば当然のようにクラブも発展します。そして、上記の3つのキーワードはバランスよく保たれる必要があります。楽しいだけならただの遊びです。正しいだけなら孤立します。仲良しだけなら慣れ合いです。「楽しく、正しく、仲良く」この3つのキーワードを常に頭に置きつつこの1年間クラブ運営を行っていききたいと思います。

京都ウエストワイズメンズクラブ会長 山下 太郎  
会長主題

## CHALLENGE



企業においても30年間事業を継続する事が1つの指標となるのは良く耳にする話です。ウエストクラブも次期に30周年を迎えるわけですが現状を見ますとやはり一区切りの次期にさしかかっているように思います。温故知新ではありませんが思いを継続することが非常に大切な事だと思います。

今期は今一度YMCAとの関わり方を考えると共に、人と人の交流、つまりYMCAを構成する原点とも言えるリーダーや職員との関わりを大切にしていきたいと考えております。

また毎年の事業だからと同じことをやっているだけではワイズメンズクラブの魅力も半減し新たなメンバーの獲得にもつながりません。もちろん内容を十分理解した上で事業に関わる訳ですがただこなしているという形になってはいないでしょう。

そこで具体的にサポートする方の顔を知らないサポートする側もつまらないという思いから、第1例会を利用しYMCAのリーダーや職員の方々、そして平安徳義会、みやこ作業所の先生方と直接意見交換をする場を出来るだけ多く持ちたいと考えております。10月にはリトセンでリーダーと共に1泊例会を開催し交流を深めます。

また地域奉仕が自然と出来るようなクラブを目指す為にも、今まであまり取り組まなかった清掃作業などを行う予定です。社会貢献を図ると共にワイズメンズクラブの広報にもつなげたいと考えております。

考える前に行動する、そして何事にもCHALLENGEする精神を大切に今期活動をして行きたいと思えます。

京都めいぶるワイズメンズクラブ会長 松尾 隆正  
会長主題

## 未来に向ってパス



今期、我がめいぶるクラブは25周年を迎えます。私の様な若輩者がその周年記念の会長をすることになりました。大きな事は出来ませんし、言えませんが小さな事から少しずつ達成して行こうと思います。その1つ1つの小さな達成が、今日のめいぶるクラブを作ってきたと私は思っているからです。

この四半世紀、順番に回されてきた“パス”を私が受け、次に繋ぎ、30周年、さらには50周年、100周年とパスが繋がるようなクラブ運営をして行こうと思います。

今期のテーマとして、前期に引き続き“環境問題”を取り上げようと思えます。

現在私たちのいる地球は深刻な環境問題を抱えています。この問題も、我々一人一人が常日頃から気を使うだけで少しはましに成るはずですが、便利で快適な生活は環境に良くありません。例えば“自動車”今では一家に1台は当たり前で、2台3台ある家庭も多いでしょう。この自動車も便利な分、環境には悪いのです。なるべく公共の交通機関を利用し、少しでもCO2の削減に取り組みたいと考えています。そういったテーマの例会を今期も行いたいと考えています。

未来の子供達のために地球のために、より良いパスを送りたいと思えます。

京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 香山 章治  
会長主題

## Let's begin

### - すべての共生に向かって -



京都キャピタルワイズメンズクラブは、今期25周年を迎えます。

カトリック教では25周年は『クォーター』と呼ばれ、特に重要な区切であると聞いております。この記念すべき期の会長を私のような者にさせていただけるということに、メンバーの皆様へ感謝申し上げ、また強く責任を感じている次第であります。

今期の会長主題は「Let's begin」です。25年という時間をかけて培われた、今日までのキャピタルスピリッツをしっかりと引き継ぎ、その土台の上にまた新たなキャピタル物語が1年づつ積み重ねられていく・・・その新たな始まりを意識しながら、YMCAを支えていく団体として、積極的なボランティア活動・環境問題への取り組み強化・例会の充実・更なるメンバー増強等、これから我々がやらなければならないことは無限にあります。出来ることから一歩づつ進んでいきたいと思えます。

副題は「すべての共生に向かって」ということですが、我々の日常で人と人が助け合っていく場面はたくさんあると思えます。「地域と私」「YMCAとワイズメン」「アジアと日本」「地球と環境」という風に・・・まず身近なところから、グローバルな分野に至るまで「共生」というものを意識しながら、共に喜びを感じ、共に生きるという思いやりの気持ちをもち行動することによって、そこに真のやさしさが芽生え、すべてがプラスの方向へ循環していくと私は信じています。

何事も“させていただく”という謙虚な心をもって、メンバー一人一人ができることから「さあ、始めよう!」「積極的に参加しよう!」という気持ちを胸に、今後キャピタルクラブはさらに強い絆の中で邁進したいと思えます。

京都プリンスワイズメンズクラブ会長 廣井 武司  
会長主題

## 友情の輪を拡げよう 和・話・輪



1986年11月11日、プリンスクラブが国際協会から認証されてから22年がたちました。

もう二度と会長職は無いだろうと、それなりにクラブを楽しんでいたところへ、大変なことが起こりました。二度目の指名です。アナログ人間の私にはデジタル化された中で呼吸は息苦しいものでした。

この原稿をパソコンで打ってメールでとのご指示に手書き fax していた頃の数倍の時間を費やしています。こんな私に何を求められたのでしょうか？

会員増強も足ふみ状態の中、私に出来ることを探してゆきます。私たちのクラブ活動は例会に会員が集うことから始まります。会って、顔を合わせて、握手をして、そして笑顔で大いに語り合っ、もっともっと友情と信頼を深めて行く必要があると感じています。若者や子どもたちに夢や希望を持ち、彼らに未来に夢や希望を持たせるように基本に忠実に 25 周年を目指して「輪」を拡げて行きたいと願っています。

一つのことをたいせつに・・・

京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 赤松 悦治  
会長主題

『たちかえろう！！ そしてもっと』  
参加しよう、楽しもう、広げよう



入会してまだ 6 年と日も浅く正直ワイズもあまり理解もできてない私に会長という大役が廻ってこようとは思いませんでした。思い起こせば当時の会長に誘われるままゲストで何度か参加させていただける内にメンバーの皆さんの人柄にふれ自己研鑽のつもりで躊躇なく入会しました。退職を機に今までと違う生き方をしたい、ちょうどそんな思いでいるとき

でしたので。当時は崇高な理念や志もなく、ただただ楽しく例会に参加していただけでしたが、ワイズの組織、活動を少しずつ理解するうちに自ら積極的に動かなければ意味がないのではと。

今一度原点を見つめ各事業には積極的に参加し、楽しみながら交流の輪を広げましょう、そのことが結果として Y M C A と地域社会への貢献になればと思います。しかしながら、あまり難しく考え重荷になるようではかえってマイナスです、楽しいクラブ運営を目指し微力ながら頑張りたいと思います。

京都ウイングワイズメンズクラブ会長 今村 隆宏  
会長主題

心から親睦、そして団結



メンバー増強！！ 50 名体制を目標とするクラブとして、メンバー間での心からの親睦と団結力による、更なるクラブの飛躍を私自身楽しみにしております。

第一には、YMCA との関わりを考慮して、多くのメンバーが積極的に参加し、その活動の中でより良い親睦を深める。

・・・すべてのメンバーに、いや、できるだけ多くのメンバーに、理解と実行をして頂くには、この少し手前の部分でのもっと大切な人間関係を築き上げる事が大切だと考えます。何故、ワイズメンズクラブのメンバーなのか？メンバーが増えるほどその理由にも温度差があるのも事実です。委員会で心からメンバーと語り合い、事業以外の話題で盛り上がり、そんな委員会を重ねることで、自然に親睦が深まり、事業への参加意欲も向上し、そして事業に参加する事で共に汗をかき、やり遂げた喜びを分かち合えるものだと私は思います。そしてその達成感で自分達の心も癒され、想像もできない位

のエネルギーにもなり、世の為、人の為に尽くして行くことが出来るのだと思います。例会や委員会、事業などかなりの時間を費やして、たた行事をこなして行く事だけでなく、参加する事で得た、なにか温かい、その心で社会生活を過ごすことから、奉仕の種がまかれるのだと思います。

楽しい事は、笑顔で人に伝えるものです。笑顔で種をまく為には、ワイズは“楽しい”が基本です。楽しみながら積極的に参画する心をウイングのメンバー全員が持っていることを理解しています。

IBC 事業でもウイングコメットの韓国金浦クラブホームステイや、公式訪問なども予定されています。更なる親睦を深めていきます。

今期は京都部会部のホストも、素晴らしいウイングクラブのメンバーで、心からの団結力で共に楽しみながら参画いたします。

更なるウイング飛躍のために。

京都洛中ワイズメンズクラブ会長 荒木 恒夫  
会長主題

心を繋ぐ～人の心は言葉が運ぶ



クラブも誕生 20 年が過ぎ、ここ数年新しいメンバーも入らないで仲の良いメンバーが集まって、それなりの活動をしています。とって居心地がよく各自が自分の出来ることを確実にこなし、実に円滑なクラブ運営が出来ています。でもこの現状で大問題ですよ！ % \* スパイラルにはまり込み、抜け出そうと

もがいていたのですが、其の内良い気分になって来て皆がこれではいけないと思いつつもどっぴり肩まで。そうこうしている間にも時は過ぎ 20 年の節目、2 度目の部長輩出と、部会ホストという大役を受けることに。思い起こせば、前回の会長期は日本区大会ホストという大きな事業を終えた次の年、どちらかと言えばメンバーのモチベーションが下降気味の年でした。でも今度は部会へ向けてモチベーションをどんどん上げていかなければなりません。このことは 100%全員が思っている事ですが、行動を起こすきっかけが必要で尚且つ皆が同じ方向に向かって走り出す必要があります。10 人十色、考え方は人それぞれで意見のぶつかるのは当たり前。でも目指すところは同じ所です。一つの山の頂上を目指すのに登山道が幾つもある様に。時には緩やかな坂道を皆で鼻歌を歌いながら、急ぐ時は急な坂道で息を切らし励ましあい・・・どの道を選ぶかは皆で十分に話し合いながら・・・お互い心を通わせるには言葉が必要です。勿論態度で其の人の心根が分かることもありますが、誤解を招くことも否めません。意見を一つにまとめる必要は無いと思いますが、一つ一つの意見に耳を傾けることは大切です。其の上でどの道を進むか判断するのが私の仕事・責任と考えています。新たなクラブ創りの第一歩を確実に踏み出し少しでも高い処へたゆまず歩を進めたいと思います。皆の心を繋いで・・・

京都エイブルワイズメンズクラブ会長 村田 信也  
会長主題

私が手本といえる行動をしよう  
- 今を生きる証として -



カトリック教会による「心のともしび運動」には、「暗いと不平を言うよりもすすんで明かりをつけましよう」とのスローガンがあります。

私自身このスローガンに強く心を打たれまして、今では私の座右の銘になっています。

人や社会には色々な目的や要望・願望そして不平不満がありますが、どんな目的や要望・願望を掲げても、

どんなに不平不満を訴えたとしても何も達成できないでしょう。

自ら進んで一步を踏み出すことで解決に近づけると思っています。

勿論、ひとりで出来るものはたかが知れています、多くの人と手を取り合っ、共に歩むことで大きなチカラとなることでしょう。

そのチカラの源それぞれに個々の「私」がいることで多様なことが実現できるのではないかと考えています。

ワイズメンズクラブには多くの目的がありますが、その目的の一つ一つの中心にそれぞれ個々の「私」が存在することで、一歩でも目的に近づけていくものと思えます。

今年度は特に京都 YMCA を理解した我がクラブを理解していただく為にも直前会長にその重責を担っていただきまし、今年度も我がクラブ独自の事業としてリトリートセンターの広報のために、「森の中の音楽祭」を開催します。

また我がクラブは特に地域奉仕にチカラを注いでいるのですが、奉仕活動に特に熱心であります。バスター会長にその任をお引き受けいただきまして、より充実した奉仕活動を実現して参ります。

我がクラブは、とても残念なことに少人数になりましたが、逆に活動そのものは益々充実と拡大を続けています。

その他の三役や事業委員会につきましても、それぞれの役割に精通した会員が、素晴らしいチカラを発揮して「私が手本といえる行動」によって個々にチカラを発揮されまして、「今を生きる証として」充実した一年になることと確信しています。

ワイズメンズクラブとして、色々な事業を通じて親睦の輪が広がり、会員の拡大によって充実した時を共に歩める喜びを感じたいと思います。

京都グローバルワイズメンズクラブ会長 紺谷 昌丘  
会長主題

新たな行動、みんなの力が最大の力 未来へ



「育てよう 楽しもう 広げよう 奉仕の心」と副題にしました。

メンバー一人ひとりの自覚と行動により、クラブの活性を図りクラブを充実させメンバー全員が一丸となって楽しいクラブライフを行って生きたい。未来に向けて新たな目標を、メンバー全員で考え実行出来ればと思っています。

ひとりの力は一人だけ、全員の力を合わせれば120パーセ

ントの力が出ると思えます。

グローバルクラブでは、特別委員会を作りました。

一つはビジョン委員会です。5年間にわたりカンボジア小学校建設及び付帯事業を寄贈しました。長期にわたりクラブビジョンを思考していく委員会です。

国際 CS 委員会は、今期クラブ全員で海外に向けた奉仕活動をして行きたいという思いで作りました。何が出来るかは、これからメンバー全員で検討して行きます。

クラブを維持する為には、個々が自分の一番得意とする能力を一つずつ出し合っ、全員の力で活性をはかり自分に合ったワイズを作っていく。

「奉仕の心」を持つ事の大切さ、思いやり、やさしさといった人を思う心はやがて友情に変わっていくと確信しています。

京都みやびワイズメンズクラブ会長 北村 栄司郎  
会長主題

「育てよう、未来にむけて」



私今回でみやびクラブ、2度目の会長させて頂く北村ですが、一度目は15年前みやびクラブの誕生初代会長を努め、41名のメンバーとともにがんばってまいりました。今期に至るまでメンバー減少が続きながらよく維持してまいりましたと思えます。

5月5日、15周年記念例会に2名(女性メンバー)の入会式を執り行ない久しぶりのニューメンバーでク

ラブ内にも花が咲いたように思えます。

私事ではありますが、昨年胆石の検査で病院に行ったところ結果が思いもよらずC型肝炎ウイルスがあると聞き信じられなかった。C型肝炎とは肝炎を起こすウイルス(C型肝炎ウイルス)の感染により6ヶ月以上にわたって肝臓の炎症が続き細胞が壊れて肝臓の働きが悪くなる病気です。初期には、ほとんど症状がなく感染に気づかないことが多い病気で、しかし放置しておくとう長い経過のうちに肝硬変や、肝がんに進行しやすいことが知られ、治療、半年に一回血液検査をし今現在の結果は良好ですのでガンバります。

あとになりましたが会長主題「育てよう 未来にむけて」ワイズ活動へ積極的に参加し、メンバー増強ノンドロップをめざし、会員西日本区2000名の実現に向け一人ひとりが協力しなければならぬと思えます。そして環境問題、HIV/AIDS等エイズキャンペーンピンバッジ募金この事業にはTOF資金が用いられますでしょうか。ピンバッジがあれば協力致します。

育てよう……みやびクラブの将来(ニューメンバーに期待)未来にむけて……5年後の20周年に

皆んなで力をあわせてガンバロー

京都トップスワイズメンズクラブ会長 平間 正昭  
会長主題

スカッと爽やか いつも笑顔で  
~ I feel Tops ~



コロナ原稿を書いている部屋は涼やかな5月の風が入って来て物事を考えるのにはいい環境です。風には温かな風、冷たい風、強風や暴風と色々あり、昔の船乗り達はその風を読み風を捕まえ風を見方にして航海を続

けたと聞きます。今、ワイズメンズクラブが受けている風はどんな風でしょう。次期会長主査研修会ではメンバー増強を幾度も訴えておられました。おそらく現在ワイズメンズクラブには冷たい逆風が吹いているのでしょうか。では、どうすればワイズメンズクラブにとってイイ風を捕らえられるのでしょうか。我々のプログラムには見えるカタチ見えないカタチ色々あるでしょうが一般社会から見たとき『アレはなんだろう？ナニをしているのかな？楽しそうだな～』と、興味を持ってもらえてしかも声を掛けたときに参加してみようかと興味を思ってしまうようなクラブならイイと思いませんか？

そのためには、日頃からの活動、考え方、YMCA との係わり方、他クラブとの横の連携、そしてナニより新しいメンバーと活動を共にした時のサポートが大切だと思うのです。メンバー数の増減は経済の好不況が少なからず影響していることは否めない事実です。トップスもその嵐の中にいました。今は苦しい航海を続けていても来るべきイイ風が来た時にはフルセイルを張れる様に行なうべきことはキッチリ。すべき準備はしっかりと整えておきたいと思います。メンバーが増えたと各クラブのプログラムは充実したものになり、それは新たなメンバーを呼び込む要因になることなのでしょう。コノ1年会長職を務めるにあたりクラブの基本に立ち帰りたいと思います。このクラブを育ててきたみんなと一緒に。

京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 伊藤 剛  
会長主題

『キーワードは「ヒト」

～人から人へ伝えよう、広げよう！～』



2008年7月、京都トゥービーワイズメンズクラブの第13期がスタートしました！

前期、トゥービークラブは10周年の節目を終え、記念事業一色の大変心に残る一年となり、また大いにステップアップした一年でもありました。今期は会長主題に『キーワードは「ヒト」～人から人へ伝えよう、広げよう！～』を掲げております。

この10年の経験を生かし、ワイズメンであることへの誇りとプライドを、そしてまた高い志と同じ価値観を持った「ヒト」が集まれば、そのエネルギーは自然に「ヒトからヒト」へと伝わり、一層魅力あるクラブになっていくと考えます。まずは「EMCへの意識」「めりはりのある例会企画運営」「充実した委員会」これら3つの柱を中心に活発なクラブ運営を考えていきたいと思えます。

また今期はトゥービークラブから、小幡西日本区交流主任と村澤京都部広報主査を排出、DBCの熊本ジェーンズクラブからは佐藤西日本区理事が誕生、そしてまた新たに大阪なかのしまクラブとのDBC交流が始まります。

これを良い機会に、自クラブだけに留まらず、他クラブの皆さんとも大いに交流し、有意義な一年となるよう頑張っていきたいと思えます。

どうぞ宜しくお願い致します。

京都東稜ワイズメンズクラブ会長 高間 正夫  
会長主題

「楽しく 規律あるクラブライフを」



東稜クラブも早や5年目を迎えました。

5年目を期に、何もわからない私が会長を受けることになり不安でいっぱいです。

しかし、今までの会長が作ってきたクラブライフを大切に続けていくとともに、私の「楽しく、規律あるクラブライフを」を目標に

行動することによって、新しい会員を迎えることができれば、第5期の会長としては上出来ではないかと。

また、会員25名の第一歩として、何とか頑張っていきたいと思えます。

京都ウェルワイズメンズクラブ会長 永井 剛  
会長主題

『入魂！ウェル魂』

～ワイズに熱くなろう、そしてワイズを楽しもう～



ウェルクラブがプリンスクラブに産んでいただいてから、あっという間に時は流れ、次期には5周年を迎えることとなります。この間決して順風満帆だったとは言えません。このことは、まぎれもなく私たちキーメンバーの努力不足に起因するものであり、そのことを謙虚に反省しなければなりません。

今期は、その反省を踏まえて、クラブに後が無いというくらいの悲壮感をうちに秘め、強い気持ちとリーダーシップでクラブ運営にあたりたいと考えています。

前期の西日本区EMC主任澤田ワイズが、ウェルのメンバーを評された言葉が「仏つくって魂入れず」でした。私は、この言葉を耳にしたとき、強い衝撃を感じたことを今も覚えています。ウェルのメンバーひとりひとりが、本来ものすごく熱いモノを持っていることを私は知っています。そんな熱い連中の魂ひとつひとつがウェルに籠められたなら、ウェルはものすごい集団に生まれ変わる可能性を秘めていると私は信じています。

だから今、共にいるこの素晴らしい仲間達の炎の魂を束ねてウェル魂としてウェルに再度息吹を吹き込めるよう全身全霊を捧げたいと思えます。

過去に囚われず、ただ過去の反省を生かして、前を向いて走り出したいと思えます！そして、何と云っても楽しまなければ・・・楽しさを基本に、ひとりひとりが、自分がウェルでやりたいことを、表現し、責任を持って行動することで、最後に共にわかちあえる何かが残るはずで。

今期は、プリンスクラブの廣井会長はじめ、他クラブの会長様にも様々なご尽力を頂き、合同例会を多数企画することができそうです。数多くの出会いと触れ合いも待っています。

「入魂！ウェル魂」みんなで実現しようと思っています。

「この予算案は、6月22日の第1回評議会において承認されたものに、7月1日での会員数確定と前期繰越金確定に伴って、部費・前期繰越金・部会補助費を訂正したものです。この案にて第2回評議会に於いて承認していただく予定です。」

## 第13期 京都部予算(案)

2008.07.01 ~ 2009.06.30

### 収入の部

単位:円

科 目	第12期予算額	第12期決算額	第13期予算額	備 考
部費	1,287,000	1,306,500	1,335,000	08.7.1付半年報人員445人で算出(@¥3000)
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	85,800	85,800	89,000	西日本区より部一律 部メンバー1人当り¥200
西日本区ファンド収益		4,080		
利息		1,544		
単年度収入小計	1,472,800	1,497,924	1,524,000	
前期繰越金	1,096,193	1,096,193	957,087	
合計	2,568,993	2,594,117	2,481,087	

### 支出の部

単位:円

科 目	第12期予算額	第12期決算額	第13期予算額	備 考
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥20,000×7事業
部事業費	320,000	331,000	430,000	
ソフトボール支援金	0	0	0	
会議費	125,000	120,100	133,000	役員会・評議会・三役会会場費等
印刷費	284,000	285,376	270,000	部報・会議資料等
部会補助費	446,000	446,000	461,000	@ ¥1,000×461人(連絡主事合)
研修費	205,000	208,000	208,000	研修会登録費
通信費	41,000	44,325	41,000	郵便・電話・部ホムペ・ジ維持費
事務費	30,000	30,000	30,000	
慶弔費	20,000	32,229	20,000	
単年度支出小計	1,611,000	1,637,030	1,733,000	
次期繰越金	957,993	957,087	748,087	
合計	2,568,993	2,594,117	2,481,087	

### 特別会計収入の部

単位:円

科 目	第12期予算額	第12期決算額	第13期予算額	備 考
前期繰越金	320,958	320,958	250,958	
一般会計より	30,000	30,000	100,000	リーダー支援金
合計	350,958	350,958	350,958	

### 特別会計支出の部

単位:円

科 目	第12期予算額	第12期決算額	第13期予算額	備 考
YEEP支援支出	0	100,000	0	
YC支援金	100,000		200,000	リーダー海外研修支援
予備費	250,958	250,958	150,958	
合計	350,958	350,958	350,958	

## 第13期 京都部予算(案)支出の部

2008.07.01 ~ 2009.06.30

単位:円

科 目	細 目	13期予算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	40,000	
	CSチャリティーボーリング	50,000	
	EMC交流会	40,000	
	国際協力募金支援	30,000	参加リーダー交通費等
	ワイズデー事業	50,000	
	広報事業	40,000	
	合同メネット会関連	80,000	会場費含む
	特別会計へ	100,000	リーダー海外研修派遣支援
小計		430,000	
会議費	役員会	36,000	三条YMCA教室 ¥3000×12
	次期役員会	15,000	三条YMCA教室 ¥3000×5
	評議会	82,000	三条YMCAマナホール×1 ホテル他×2
	三役会		
小計		133,000	
印刷費	部報	230,000	3報印刷代 印刷2報+ホームページ1報
	会議資料	40,000	
小計		270,000	
部会補助費	京都部部会補助	461,000	@1000×461人(連絡主事含む)
研修費	部長	16,000	1月次期役員研修会
	次期部長	32,000	1月次期役員研修会 3月次期会長主査研修会
	次期主査	112,000	3月次期会長主査研修会
	次期三役	48,000	1月次期役員研修会3名
小計		208,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	10,000	
	部ホームページ関係	31,000	
小計		41,000	
事務費	事務備品	30,000	
慶弔費	慶弔費	20,000	
次期繰越金		748,087	
支出合計		2,481,087	

### 特別会計支出の部

単位:円

科 目	細 目	13期予算額	備 考
YEPP支援支出		0	
YC支援金		200,000	
予備費		150,958	
合計		350,958	



## 第2報

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

# 第13回 京都部 部会のご案内

開催日：2008年9月14日(日)

登録受付 14:00

第一部 式典 開会 15:00

第二部 <sup>メン</sup>宴まで生テレビ「500の壁」

第三部 <sup>うたげ</sup>宴

場 所：ホテルグランヴィア京都 (JR京都駅)  
TEL.075-344-8888

登録費：10,000円

京都部部长 藤田 寿男  
部会実行委員長 武村 松一

連絡先 E-mail [hideyakoubcu1489@ec2.technowave.ne.jp](mailto:hideyakoubcu1489@ec2.technowave.ne.jp)  
FAX 075-371-5700 (事務局 井上)



ホスト 京都ウイングワイズメンズクラブ